

領域・分野別教育・研究概要

教育研究領域	専門分野	教育・研究概要
基盤看護学	看護管理学	保健医療福祉を取り巻く環境の変化を視野に、行政のしくみや看護管理システムを学ぶとともに行政・経済・看護管理・継続教育などに関する理論や方法を探究することで、将来、保健医療福祉のおける場でリーダーシップが発揮でき、それらに携わる能力を修得する。
	実践基礎看護学	人間の健康とその生活に対する援助のあり方をさまざまな角度から探求するとともに、医療・看護の場における倫理的問題について理解を深める。
実践看護学	がん看護学	がん疾患に関する基礎知識を踏まえ、ストレス、危機、セルフケアなどの理論を用いて、がん患者やその家族への援助方法を探求する。又、実習を通じてがん専門看護師を目指して学習する。
	クリティカルケア看護学	生命危機状態にある患者の心身の状況や苦痛を理解し、医療的介入・治療処置効果をアセスメントする能力、患者・家族に対する必要な援助方法を習得する。クリティカルケア看護実践の経験を通して、クリティカルケアの場における現状と問題点を明らかにし、クリティカルケア看護の専門性および人間の尊厳を支える看護とは何かを探求する。
	母性看護・助産学	ライフサイクル各期の女性とその家族を対象に、リプロダクティブヘルス/ライツの側面を中心として、健康生活上の課題を系統的かつ科学的にアセスメントし、援助するための理論を学習・探求する。また、看護職として自律して役割を遂行するための方策を、総合的な視点に立って探求する。
	小児看護学	現代社会の背景、親子関係論、成長発達論を踏まえて、小児とその家族の健全な成長発達のためのアセスメント理論と援助理論を探求する。また、ハンディキャップをもつ子ども、慢性疾患をもつ子ども、小児がんをもつ子どもおよびその家族への援助など、さまざまな状況にある子どもとその家族へのトータルケアを探求する。
	老年看護学	あらゆる健康状態にある高齢者とその家族、および高齢者に関わる環境への理解を深め、高齢者の生活の質を重視した積極的な健康援助のあり方について考察する。保健・医療・福祉を踏まえた高齢者のヘルスアセスメントの方法、健康援助技法、高齢者の健康評価法について探求する。 高齢者の健康維持・増進から、終末期ケアまで、施設ケアから在宅ケアの継続などについて、高齢者ケアシステムの推進・開発を踏まえて探求する。また、質の高い認知症高齢者のケアなど高齢者のトータルケアについて探究する。
広域看護学	精神看護学	精神障害者の看護および精神保健について、理論を活用し、実践適用を目指した援助方法を探求することで、精神看護学の専門性を高める。
	地域看護学	グローバルで長期的な視点にたつて健康寿命の延伸やヘルスプロモーションとQOLの向上に貢献するために、地域における全ての集団および個人に対するより効果的で高度な地域看護サービスの提供、それに関連する理論と包括的かつ系統的な一連の方法論、および実際の看護介入や援助に必要な技法と戦略を学ぶ。